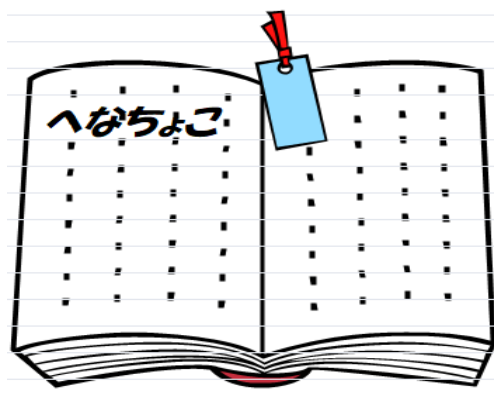




☆ 7月朝礼のお話 『正直のすすめ?』 ☆



『わたしって へなちょこや』

主人公の”ともちゃん”はじぶんのことを責めます。『へなちょこ』にはなりたくないからそう思うのです。周囲からは「ともちゃんは何でもできるから」と期待されて、ホントはできないことも『うん。できるよ』と言ってしまいます。これって嘘つきなのかなあ。焦りながら、涙を流しながら、なわとびの練習をします。でもやっぱりどうしてもできません。そして正直に『できないよ』と言えなかったことを後悔します。[前々回のハダック7号](#)で書いた

絶望のどん底状態です。でも”ともちゃん”はできないことをすぐには認めません。その時、友達”あいちゃん”が戻ってきて言います。『ともちゃんはへなちょこじゃない!.....』と。

さて、ともちゃんとあいちゃんは、その後どうなったかは、お子さんに聞いてみてください。最初から正直に言えないことなんていっぱいあるし、正直に伝えられなかった主人公にたくさん共感してしまう絵本『へなちょこ』の紹介でした。

子どもたちに見せるのに「今年はこの本がいいかなあ」と図書室で絵本探しをして手に取ったのは、今年もやっぱり”くすのきしげのり”さんの作品でした。



☆ 順調に育ててます ☆

全校のみんなで植えかえした「人権の花」がしっかり根付いてきています。朝顔の葉はみるみる大きくなっています。

平日は、登校してきた子どもたちが輪番で水やりをします。

『元気のないお花はないかな・・・』

『もっとおっきくなってね』

今日は一年生が担当していました。とっても暑い日(まさに猛暑)が続いているのでプランターの土がすぐに乾いてしまいます。特に土日は必ずピンチになります。そこで、園芸担当の先生たちが自動タイマーでかん水できるホースも取り付けてくださいました。これから毎日の水やりが大事な日々が続きます。秋の種取りまで気が抜けません。

